

## 長崎県福祉サービス第三者評価結果報告

## 1. 第三者評価機関名

医療・福祉ネットワークせいわ

## 2. 事業者情報

名称：社会福祉法人 蓮華園 江迎青い実幼稚園	種別： 児童福祉法における保育所型認定こども園
代表者氏名： 理事長 桑原 良誓	定員（利用人数）： 保育園部60名 幼稚園部20名（80名）
所在地：〒859-6133 長崎県北松浦郡江迎町猪調免915番地	Tel： 0956 — 66 — 9148

## 3. 総評

## ◇特に評価の高い点

- I. 自然豊かな環境の中で理念・基本方針に基づく保育を実践されています。  
園舎の窓から広々とした園庭の向こうに自然豊かな山が見渡せます。そのような開放的な環境の中で、職員によりメリハリの利いた保育が実践されていることが、子どもたちの場面に応じた活動的な姿と落ち着きさえ感じられる姿からうかがえます。今年度から認定子ども園に移行された当園は、「健康で明るく何事もやり抜こうとするたくましい子ども」といった保育テーマを掲げ、体育教室や英語教室、漢字絵本遊びや数遊びなど保育テーマに沿った幼児教育を実践されており、当番活動や子どもに寄り添う姿勢からもそのことをうかがい知ることが出来ます。また、食育ボードや給食サンプルなどを活用した食育への取り組みは、子どもの食への関心の高まりや家庭との食生活の連携につながっています。
- II. 地域の子育て支援の核となることを目指した活動を展開されています。  
保護者との日常的なコミュニケーションを大切にされ、情報交換や相談などにも積極的に対応されています。保護者相談会や懇談会なども催されており、子育てについて保護者を全面的にサポートしていこうとされる姿勢がうかがえます。また、育児講座や園の行事案内も地域に対し積極的にアプローチされ、延長保育や一時保育および学童保育にも取り組まれています。ホームページでは「育児のワンポイント講座」を掲載するなど、不特定多数の子育て家庭を支援する仕組みもあります。
- III. 地域とのかかわりを大切に考え運営されています。  
地域の関係機関との連携の中で、子どもたちやその家庭を支えていこうという意識が活動や会話の中から強く伝わってきます。小学校や医療機関、発達センター、児童相談所などとの連携やボランティアの受入なども積極的に行われており、それぞれの機能を活かした関わりによる子育て支援に努められています。園が有する機能の還元にも積極的で、育児講座や育児相談、地域の多くの方にご利用いただきたいといった思いからの認定子ども園への移行なども実績として挙げられます。公立から社会福祉法人に運営主体を移して一年という状況ですが、現状の地域との関係性からも地域との交流や連携に積極的に取り組まれてきたことがうかがい知れます。今後も地域とのかかわりの中で地域の福祉ニーズを反映した運営が展開されることについて期待が膨らみます。

## ◇改善を求められる点

- I. 人事管理や職員教育についての文書化が望まれます。  
ベテランと若手職員のバランスに配慮し、子ども一人ひとりを大切に考えた手厚い人員配置がなされています。また、園のビジョン（目標）に向けた人事管理の方向性についても聴取できます。しかし、必要な人材のプランの文書化については明確なものが確認できません。職員の質の向上についても、その方向性などについては確認できますが、一人ひとりに対する個別の教育計画となると文書化されていない状況です。人事考課の適切な運用および人材のプランの文書化、職員一人ひとりのスキルや研修履修状況および意向などを踏まえた個別の教育計画書の作成と運用など、ビジョンに向けた組織的な取り組みが、確実に展開される仕組みづくりが求められます。
- II. 計画に基づくサービスの質の向上についての改善活動を期待します。  
サービス内容を評価する体制は整備され、評価に取り組まれています。課題の解決に向けた具体的な改善計画書などは確認できません。自己評価などで抽出された課題については、明文化し課題解決の優先順位や期限、担当者などを定めた改善計画書を策定した上での組織的な取り組みが求められます。
- III. 幅広い法令等の遵守に向けた更なる取り組みが望まれます。  
法令等については、各種研修会への参加や園内での伝達による周知などにより、特に問題なく遵守されているようです。今後は、環境への配慮等も含めた関係法令等のリスト化など、常に最新の情報が得られる仕組みづくりにより、更に確実な法令遵守に結びつく取り組みを期待します。

## 4. 第三者評価結果に対する事業者のコメント

初めての第三者評価受審ということで、全職員で自己評価、点検、反省等を行う中で普段から行っていること、積極的な取り組みなどを文章化する作業に苦慮しました。しかしそれにより今までの取り組みが明確になり、より良い保育を行うための目標を職員が共通認識出来たことは、今回の評価以上に有意義なものとなりました。

評価項目が漠然としているため、何か新しい取り組みが必要なのではないか、保育サービスとして不足があるのではないかと不安な中、評価調査者の方々の保育に対する情熱と子ども達への温かな眼差しにより、今まで私たちが取り組んできた保育の良い点や熱意を引き出し、足りなかった点や思い違いをしていた点にアドバイス頂き、より良い保育に対する目標ややりがいを得ることが出来ました。今後も地域の子ども達の健やかな成長を願い、時代の流れに応じた質の高い保育サービスを職員が一丸となって積極的に提供していきたいと思えます。

5. 各評価項目にかかる第三者評価結果  
(別紙)

## 福祉サービス事業者情報

## (1) 事業者概要

事業所名称：社会福祉法人 蓮華園 (施設名) 江迎青い実幼稚園	種別： 児童福祉法における保育所型認定こども園
代表者氏名： (管理者) 園長 日高 しおり	開設年月日： 平成 19 年 4 月 1 日
設置主体：社会福祉法人 蓮華園 経営主体： 同 上	定員： 保育園部 60 名 幼稚園部 20 名 (利用人数) (80 名)
所在地：〒859-6133 長崎県北松浦郡江迎町猪調免 915 番地	
連絡先電話番号： 0956 - 66 - 9148	FAX 番号： 0956 - 66 - 9149
ホームページアドレス	<a href="http://www.1717sakura.com">http://www.1717sakura.com</a>

## (2) 基本情報

サービス内容 (事業内容)	施設の主な行事				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 延長保育促進事業</li> <li>・ 乳児保育促進事業</li> <li>・ 保育所地域活動事業</li> <li>・ 障がい児保育事業</li> <li>・ 一時保育促進事業</li> <li>・ 学童保育事業</li> <li>・ 地域子育て訪問支援 (自主事業)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 父の日参観</li> <li>・ 交通安全教室</li> <li>・ 豆まき</li> <li>・ お月見会</li> <li>・ お遊戯会</li> <li>・ お誕生会</li> <li>・ 運動会</li> <li>・ 芋ほり</li> <li>・ 親子バス遠足</li> <li>・ 餅つき大会 等</li> </ul>				
施設設備等概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳児室</li> <li>・ 保育室 (4 室)</li> <li>・ 保育休憩室</li> <li>・ ほふく室</li> <li>・ 遊戯室</li> <li>・ 屋外遊戯場</li> <li>・ 調乳室</li> <li>・ 調理室</li> <li>・ ボイラー室</li> <li>・ 沐浴室</li> <li>・ 事務室</li> <li>・ 倉庫</li> </ul>					
利用児童数					
0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
6 名	13 名	12 名	保 13 名 幼 4 名	保 11 名 幼 2 名	保 14 名 幼 5 名

※ 保・・・保育園部 幼・・・幼稚園部

職員の配置						
職 種	常 勤	非常勤	資 格	常 勤	非常勤	
施設長	1		保育士	12	1	
主任保育士	1		幼稚園教諭 2 種	13	1	
保育士	11	1	看護師		1	
保育補助	1	1	栄養士	1		
看護師		1				
栄養士	1					
調理員		1				
事務員	1					
合 計	16	4	合 計	26	3	

※ 資格の種別は、保健・福祉・医療に関するものを記入してあります。

※ 複数の資格を持ち重複計上している場合があるため、職種と資格の数は必ずしも一致しません。

(別紙)

## 評価細目の第三者評価結果（共通）

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者 評価結果	評価者コメント
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。			「子どもたちが元気でキラキラと輝き、安心して保育を受けられる地域の保育園にしたい。」という思いに基づき策定された理念・基本方針は、園の目指す方向や使命が読み取れる内容になっています。また、「心身ともに健康で、途中で投げ出したりくじけたりしないように」という願いに基づき「健康で明るく何事もやり抜こうとするたくましい子ども」といった保育テーマを掲げられています。今後の課題としては、方針等の体系的な整備が挙げられます。
①	理念が明文化されている。	①・b・c	
②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	①・b・c	
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。			法人の理念等は要覧（パンフレット）に掲載され、保育目標等は各種計画や入所のしおりなどに掲載されています。職員に対しては、職員会議等で周知されており、保護者及び地域の方々には、行事の際などに周知に努められています。また、理念・基本方針に基づく保育目標は、園内の各所に掲示され、園発行の「園便り」や町発行の「広報江迎」にも掲載されるなど内外への周知に努められています。
①	理念や基本方針が職員に周知されている。	①・b・c	
②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	①・b・c	

#### Ⅰ-2 計画の策定

		第三者 評価結果	評価者コメント
Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			社会情勢の変化や法令等の改正により将来の展望が読みにくいとささやかれるなか、利用者の視点や職員教育などバランスに配慮した中長期計画が策定され、事業計画も整備されています。今後は、実施状況の評価が可能となるよう、数値化や期限の設定など定量的な分析が可能な計画策定を心掛け、ビジョンの達成につなげていただくことを期待します。
①	中・長期計画が策定されている。	①・c	
②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	①・c	
Ⅰ-2-(2) 計画が適切に策定されている。			計画は、日常的に職員から聴取した意見を基に、リーダー会議で議論され策定されています。計画の周知については、職員に対し年度末および年度初めに職員会議で説明され、保護者には、保護者会で説明されています。
①	計画の策定が組織的に行われている。	①・b・c	
②	計画が職員や利用者等に周知されている。	①・b・c	

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者 評価結果	評価者コメント
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。			園長は、組織図・職員職務分掌表でその役割と責任を明確にし、新年度のあいさつ文でその姿勢について表明されています。法令等については、各種研修会への参加およびその内容の伝達など、遵守に向けた取り組みが確認できます。しかし、環境法などを含む幅広い法令等の把握については、十分とは言えない状況です。今後は園の運営に関する幅広い法令等のリスト化などに努め、その遵守に向けた取り組みを期待します。
①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a・b・c	
②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a・b・c	
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			園長は、保育サービスの質の向上に意欲を持ち、保護者からは、提案箱や日常的なコミュニケーション、保護者会などで意見の聴取に努められています。また、職員の意見については、職員意見提案記録に取りまとめられ、保護者からの意見と併せて職員会議で検討されています。経営や業務の効率化に配慮した職員配置や勤務体制などにも配慮され、同一法人内の他の事業所との連携によるコスト削減にも努められています。
①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a・b・c	
②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。(※1)	a・b・c	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

		第三者 評価結果	評価者コメント
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			園長会や各種研修会及び子育て支援事業・行事関係などの際に得られる業界全体の動向や地域のニーズを把握し、延長保育や一時保育、学童保育などにも取り組まれています。経営状況についても、外部の専門家の監査や指導を受け経営の安定化に努められています。今後は、手元に経営分析などの記録を整備し、課題の明確化などに取り組まれることを期待します。
①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。(※1)	a・b・c	
②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。(※1)	a・b・c	
③	外部監査が実施されている。	a・b・c	

## II-2 人材の確保・養成

		第三者 評価結果	評価者コメント
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。			
①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a・b・c	ベテランから若手までバランスに配慮した人事管理が行われており、人材に関する考えも概ね確認できます。しかし、園のビジョンに向けての必要な人材のプランとなると確立しているとは言い難い状況です。人事考課における上司評価や目標管理など人事考課制度の効果的な運用および人材に関するプランの明確化と各種計画への反映など、ビジョンに向けた積極的な取り組みが求められます。
②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a・b・c	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a・b・c	職員の勤務体制については主任を中心に話し合いで決定されており、有給休暇の希望を反映させた勤務表の作成にも努められています。福利厚生面についても、福利厚生センターへの加入や、職員の慰安につながる行事が行われています。また、個人面談により職員の意向等の把握や精神的なサポートにも努められています。今後は、職員に対するアンケート調査など意向の把握手法に工夫され、更なる職場環境等の改善に努められることを期待します。
②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a・b・c	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a・b・c	職員の教育・研修に関する基本的な考え方が、基本方針や事業計画の各所で読み取れ、全体の研修計画に基づく活動が展開されています。職員の技術水準の向上を目指しベテラン職員が若手職員の育成に携わる取り組みや外部講師を招いた研修など、積極的な活動も展開されています。しかし、個別の職員に対する教育計画等は確認できません。今後は、職員一人ひとりのスキルなどを踏まえた個別の教育計画を作成し、その実施や評価、見直しの仕組みを構築するなど、職員育成がより確実に実現できるように努めることが課題と言えます。
②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a・b・c	
③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。			
①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a・b・c	実習生の受入に関しては、計画的に学べる実習計画表を作成し、実習後の反省会を実施するなど適切な運用が行われています。しかし、養成校との責任体制の明確化については、十分とは言いがたい状況です。
②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a・b・c	

## II-3 安全管理

		第三者 評価結果	評価者コメント
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a・b・c	安全に関するマニュアルが整備され、不審者対応などのフローチャートが掲示されています。遊具安全点検表による遊具の点検も毎日行われており、ヒヤリハット事例を用いた検討や、職員間における行政・警察からの情報の共有化などにも努められています。今後は、リスクの種別毎の責任者や担当者を安全管理の組織図や職務分掌表で明確にされるなど、より機能しやすくなるための取り組みを期待します。
②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a・b・c	

## II-4 地域との交流と連携

		第三者 評価結果	評価者コメント
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			<p>公立から社会福祉法人に運営主体を移して一年という状況ですが、現状の地域との関係性から、地域との交流に重きをおき、積極的に努力されてきたことがうかがえます。地域行事への参加や福祉施設との交流、地域のボランティアの積極的な受入など、短期間の中でも地域との融合と協働は着々と進んでいる状況です。その他にも、子育て支援に力を注がれ、認定子ども園へ移行されるなど園が持つ機能を地域の多くの方にご利用いただきたいといった姿勢が感じられます。また、ホームページでは保育講座や保育に関する情報を提供するなど不特定多数の子育て家庭への情報発信も積極的に行われています。地域と共に在る「子育ての場」を目指した今後の取り組みにも期待がもてます。</p>
①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a・b・c	
②	施設（事業所）が有する機能を地域に還元している。	a・b・c	
③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			<p>地域の小学校とは就学前の事前連絡会のほか、意見交換や連絡の取り合いが行われています。また、児童相談所の方を含めた虐待などのケース会議にも参加されています。その他、必要な関係機関が明示され、医療機関、行政、消防、保健所、発達センターなどとの連携も随時行われています。</p>
①	必要な社会資源を明確にしている。	a・b・c	
②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			<p>地域の主な通勤経路に面した園ということで、早朝からの児童受入や病後児童の保育に取り組まれています。また、認定子ども園への移行による幅広い利用者層への対応や学童保育の実践など、地域の福祉ニーズを反映した運営を目指されています。訪問調査時には、下校してくる学童保育の児童を家庭的な温かい雰囲気の中で受け入れられている場面が見受けられました。</p>
①	地域の福祉ニーズを把握している。	a・b・c	
②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a・b・c	

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

## Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者 評価結果	評価者コメント
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			理念・基本方針に基づいた保育計画のもと、児童一人ひとりを尊重した保育を目指されています。理念・方針および保育計画は、職員会議等でその周知が図られており、指導計画については、月一回の保育内容検討会での見直しが行われています。プライバシー保護に関しては、マニュアルが整備され、個人情報保護についての保護者からの了承書も整備されています。また、職員会議等でマニュアルについての周知活動も行われています。
①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a・b・c	
②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a・b・c	
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。			提案箱の設置や保護者会での意見の聴取など保護者の意向をくみ取る配慮がなされています。また、保護者からの意見に対し、お誕生カードへの写真の掲載など実際に改善に結びつけた事例も確認できます。 玄関の意見箱については、保護者が投函しやすいプライバシーの確保された場所に設置するなどの工夫を期待します。
①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a・b・c	
②	利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	a・b・c	
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			保護者への積極的な声かけや迅速な対応など、利用者の意見をくみ取る姿勢が見受けられます。相談内容や希望に応じたプライバシーが確保された部屋での対応など、相談しやすい環境への配慮もうかがえます。また、苦情受付担当者の設置や第三者委員による苦情解決システムおよびマニュアルの整備、その共通理解のための会議なども行われています。
①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a・b・c	
②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a・b・c	
③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a・b・c	

## Ⅲ-2 サービスの質の確保

		第三者 評価結果	評価者コメント
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。			
①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a・b・c	第三者評価については、園長および主任保育士を中心に受審に向けた体制が整備され機能しています。定例会議での全職員への質の向上に関する意見の促しも工夫されています。しかし、課題の文書化や改善計画については、明確なものが確認できません。第三者評価や自己評価により抽出された課題及び改善方法について計画書に取りまとめ、実際の活動につなげていく等の具体的な取り組みが求められます。
②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a・b・c	
③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a・b・c	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a・b・c	細かな点まで記入されたマニュアルが文書化され研修や個別指導によりその周知徹底に努められています。その内容からは、「変化に対応する柔軟性」と「実践に基づく保育の本質の普遍性」を併せ持つプロ集団としての活躍が期待できます。 マニュアルに改定履歴を明記されることでの最新版管理の徹底による、更なる質の確保に期待します。
②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a・b・c	児童記録簿、保育経過記録、連絡帳などから発達状況や保育目標、生活状況などを読み取ることが出来ます。それらの記録による情報の共有と併せて、朝礼や職員会議など、書面、口頭で重ねての伝達が行われています。また、記録の管理については主任保育士、クラス主任を責任者とし職員への守秘義務の周知にも努められています。 ただし、記録のばらつきについては、その防止法について更なる工夫を期待します。
②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c	
③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a・b・c	

## Ⅲ-3 サービスの開始・継続

		第三者 評価結果	評価者コメント
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			利用希望者に対しては、ホームページで保育内容などについて分かり易く紹介されています。サービス開始前の事前説明は、体験入園や要覧を活用した説明などにより理解と同意が得られています。入園に当たっては、入園のしおりなど資料に基づいた細やかな説明が行われ保護者の安心、納得が得られるよう努められています。今後は、公共施設や人の多く集まる場所へパンフレットを置かれるなど情報提供に関する更なる工夫についても期待します。
①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	①・b・c	
②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	①・b・c	
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			保育終了時のお別れカードにより、その後も育児相談や子育て支援、一時保育を受けられることが伝えられています。転園や卒園時については、次の施設への情報提供が可能な旨保護者に説明されており、学校側との面談などの連携も行われています。
①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。(※2)	①・b・c	

## Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者 評価結果	評価者コメント
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。			入園申込の際にアセスメントが実施されています。「児童票」については、保護者により記入され必要に応じて担当保育士及び主任保育士により追記・削除・訂正が施されています。それにより抽出された課題は、児童に関する記録に記入される仕組みとなっています。ただし、「児童票」には、未記入の項目が見受けられますので、運用の徹底が求められます。
①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。(※2)	①・b・c	
②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。(※2)	①・b・c	
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。			毎月一回開催されている保育内容検討会では、主任保育士を中心に評価や見直しが適切に行われており、保護者の意向を踏まえたサービスが指導計画に沿って実施されています。
①	サービス実施計画を適切に策定している。	①・b・c	
②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	①・b・c	

※1 児童養護施設、乳児院、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設については当面適用除外

※2 児童館については適用除外

(別紙)

# 評価細目の第三者評価結果（保育所）

## A-1 子どもの発達援助

		第三者 評価結果	評価者コメント
1-(1) 発達援助の基本			
①	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a・b・c	保育理念や保育方針に基づく保育計画は、保育所保育指針などの趣旨をおさえて作成され、地域の行事や保護者の意向を踏まえて保育が実施されています。また、毎月一回の保育内容検討会では、主任保育士を中心に、保育の実践についての評価・反省が行われ、年齢に適した指導計画が策定されています。
②	指導計画に基づく保育実践の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画の見直しを行っている。	a・b・c	
1-(2) 健康管理・食事			
①	登所（園）時や保育中の子どもの健康管理については、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施されている。	a・b・c	<p>○健康マニュアルや既往歴等の記録が整備され、朝の登園（受入）時に保護者から子どもの健康状態を聴取し職員に伝達される仕組みとなっています。また、看護師による一人ひとりの健康状態の把握や与薬などが行われています。</p> <p>○健康診断は年2回、歯科検診は年1回実施され、その結果については、健康診断記録表などにより職員に、出席ノートや結果表などにより保護者に報告され、口頭による報告も行われています。</p> <p>○食事の場面では、テーブルの配置や季節の花による雰囲気作りなど年齢に応じた工夫が凝らされています。また、使用されているランチョンマットには、栄養素が視覚的に分けられ、訪問調査時には当番の子どもたちが、楽しみながらも間違えないよう配膳されている姿が見受けられました。</p> <p>○食事に関しては、初めての献立や食べ慣れないものに対して、味を覚えメニューに慣れるようにと2週間毎のサイクルメニューを採用されています。しかし、その趣旨についての保護者への説明については、まだ検討の余地があるようです。</p> <p>○当日の給食サンプルや食事内容を反映した食育ボードが正面玄関に展示されるなど、家庭との連携のための工夫がうかがえます。</p> <p>○子どものアレルギーに関しては、入園時に保護者から聴取し記録に残されています。除去食についても、保護者と連携しながら適切な対応に努められています。</p>
②	健康診断の結果や子どもの発達発育状況を、保護者に伝達すると共に、職員に周知し、保育に反映させている。	a・b・c	
③	歯科検診の結果を、保護者に伝達すると共に、職員に周知し、保育に反映させている。	a・b・c	
④	食事を楽しむことができる様々な工夫を行っている。	a・b・c	
⑤	子どもの成長過程における喫食状況等を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a・b・c	
⑥	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a・b・c	
⑦	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、家庭や専門医等と連携し、子どもの状況に応じ、適切な対応を行っている。	a・b・c	
1-(3) 保育環境			
①	子どもが心地よく過ごすことのできる換気、温度、採光等の環境を整備している。	a・b・c	<p>施設全体が明るく風通しがよい造りになっており、園庭が広く、沐浴やシャワー設備なども整備されています。遊具などについては、遊具安全点検表を用いた点検が毎日実施されています。また、砂場などの消毒も行われています。</p> <p>職員配置については、子どもの状況に応じて配慮され、個々の要求に応じた対応が可能となるよう職員間の連携が図られています。</p> <p>掲示物への画びょうの使用については、検討の余地があると考えます。</p>
②	生活の場に相応しい、人、物、場が相互に関連し合う環境とする取り組みを行っている。	a・b・c	

		第三者 評価結果	評価者コメント
1-(4) 保育内容			
①	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a・b・c	○子どもに対し保育士が寄り添う姿勢が見受けられます。穏やかな表情での話しかけや子どもの声に耳を傾けられる姿から、子ども一人ひとりの気持ちを理解し受容しようと心掛けられている様子がうかがえます。
②	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a・b・c	○年齢や発達状況などに合わせ、一人ひとりを大切にする保育が実践されています。子どもたちが、場面に応じて明るく活発に活動したり落ち着いて保育士の話を聞いたり、メリハリのある雰囲気は印象的でした。
③	子どもが自発的に活動できる空間、時間、物等の環境が整備されている。	a・b・c	○室内に好きな遊びが出来るコーナーが設けられています。訪問調査時には、広々とした園庭で元気よく遊ぶ子どもたちの姿が見られました。
④	身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	a・b・c	○七夕飾りなどを近隣の郵便局や交番に届けたり、園庭や散歩などで拾った自然のものを保育の素材として活用され、自然豊かな環境と触れ合う取り組みも行われています。
⑤	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a・b・c	○体育教室や英語教室、漢字絵本遊びや数遊びを日々の保育に取り入れられるなど、保育目標に基づく取り組みを実践されています。
⑥	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a・b・c	○3歳児から当番活動が実施されており、保育士の暖かい眼差しのもと配膳などの当番活動が行われています。また、異年齢交流も行われています。
⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a・b・c	○子どもの人権尊重について保護者にも機会あるごとに話をされています。個人情報保護についても配慮され、保護者の同意に基づく管理が行われています。
⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a・b・c	○性別への先入観による固定的な対応をしないよう努められ、持ち物や衣服に関しても子どもの気持ちを大切に、押し付けや決め付けがないよう心掛けられています。
⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c	○乳児保育については、家庭的な雰囲気の中での保育を心掛けられています。明るく広々とした空間ではありますが1歳児と同じ部屋なので、授乳や午睡など状態に応じた静かな環境の確保について更なる工夫を期待します。
⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、乳幼児が安心して生活できるよう保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c	○長時間保育については、異年齢で楽しく過ごせるような工夫が見受けられ、家庭的な雰囲気の中で手作りの軽食が提供されています。
⑪	障害児保育のための適切な環境が整備され、障害のある子どもへの関わりなどが保育計画の中に位置付けられ、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c	○障害児保育については、発達センターと相談し、リハビリテーション的な運動を取り入れられ、手作り玩具なども活用されています。

## A-2 子育て支援

		第三者 評価結果	評価者コメント
2-(1) 入所児童の保護者の育児支援			
①	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a・b・c	<p>送迎時の保護者への声かけなど、日常的な情報交換や相談が行えるよう努められています。また、保育参観時に保護者相談会を設けて相談に対応されています。それらの内容等は、子育て相談記録に記入されファイリングされています。</p> <p>送迎バス利用の保護者とのコミュニケーションは、より積極的な園からのアプローチが保護者の信頼につながります。今後の更なる取り組みに期待します。</p> <p>子どもの育ちを共有する機会としては、保育参加や懇談会などが催されています。</p> <p>虐待については、対応マニュアルの整備や研修など、職員に対する周知への取り組みがうかがえます。今後も、早期発見のための情報や手立て、スキルの向上のための体制の強化に努められることを期待します。</p>
②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a・b・c	
③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と、子どもの育ちを共有するための機会を設けている。	a・b・c	
④	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a・b・c	
⑤	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a・b・c	
2-(2) 一時保育等の子育て支援			
①	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a・b・c	<p>一時保育においては、子どもの状況に配慮しながら、通常保育を行ったり個別対応を行うなどの工夫が見受けられます。育児講座の開催や行事においては、近隣の住宅にその案内やパンフレットを配布されたり、園の持つネットワークにより作成された未就園児のリストを活用されたりと積極的なアプローチが行われています。また、外部講師による育児講座なども催されており、今後の更なる地域子育て支援機能の強化に期待が膨らみます。また、ホームページに「育児のワンポイント講座」を掲載するなど、不特定多数の子育て家庭を支援する姿勢もうかがえます。</p>
②	育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みが行われている。	a・b・c	
③	保育所での育児相談に当たって、関係機関や団体などと連携した取り組みを行っている。	a・b・c	

## A-3 安全・衛生・事故防止

		第三者 評価結果	評価者コメント
3-(1) 安全・衛生・事故防止			
①	防災に関するマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c	<p>安全・衛生・事故防止については、各種マニュアルが整備され、教育や訓練が行われています。内容によっては、園児に対する教育や訓練も実施されており、安全に関する園の意識の高さがうかがえます。</p> <p>○防災…マニュアルが整備され、自衛消防組織図により責任や役割を明確にされた上で、災害に備えた訓練が実施されています。</p> <p>○不審者侵入…マニュアルが整備され、警察署等による指導や園内での訓練が実施されています。また、不審者を取り押さえるための「さすまた」も準備されています。</p> <p>○施設・設備面…門扉にフックが常時掛けられています。窓の施錠や園舎の北側への子どもの行き来などについては更なる配慮を期待します。</p> <p>○衛生管理…マニュアルが整備され、会議等での話し合いが行われています。園児の発達段階に応じた手洗いなどの指導や園便りによる保護者向けの情報も発信されています。</p> <p>○食中毒…マニュアルが整備され、外部研修も受講されています。</p> <p>○感染症…医師との連携の中で得られた情報を反映する形でマニュアルが整備され、研修も行われています。季節に応じた情報について園便りへ掲載したり、口頭による説明にも努められています。</p> <p>○事故防止…ヒヤリハットにより事例を収集し防止策を検討され、点検チェックリストなどの活用も含めた事故防止に努められています。また、交通安全指導についても年6回受けられ、災害時の対応についても園児に教育が行われています。</p>
②	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c	
③	安全を確保するための施設、設備上の工夫がなされている。	a・b・c	
④	衛生管理に関するマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c	
⑤	食中毒の発生時に対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c	
⑥	感染症防止に関するマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c	
⑦	感染症発生時に対応できるマニュアルが整備されると共に、その対応方法が全職員に周知されており、発生状況が保護者、全職員に通知されている。	a・b・c	
⑧	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a・b・c	
⑨	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c	
⑩	発生した事故並びに事故につながりそうになった事例を全て把握するための組織的な取り組みが行われている。	a・b・c	